



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社

コード番号 9063 URL <http://www.okaken.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 壺坂 須美男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 若狭 慎一

TEL 086-252-2114

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,614	△0.1	833	△33.0	817	△35.5	509	△27.1
23年3月期第3四半期	29,642	4.5	1,243	36.1	1,267	40.5	699	△5.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 480百万円 (△19.2%) 23年3月期第3四半期 595百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	23.78	—
23年3月期第3四半期	32.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	41,135	9,684	23.4
23年3月期	40,432	9,341	23.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,664百万円 23年3月期 9,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.6	1,070	△20.3	980	△28.8	550	23.1	25.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	22,000,000 株	23年3月期	22,000,000 株
24年3月期3Q	833,532 株	23年3月期	431,708 株
24年3月期3Q	21,422,219 株	23年3月期3Q	21,569,715 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力発電所の重大事故の発生以降景気は大きく悪化しました。その後復興とともに一部に持ち直しの動きがみられたものの、海外経済の減速や円高、株安などの影響により、先行き不透明な状況が続きました。

物流業界におきましても、燃料価格の高止まりや個人消費の低迷に加え、海外への生産シフトによる国内産業の空洞化が進み国内貨物の輸送量は減少傾向が続くなど、依然厳しい経営環境であります。

このような中、当社グループは、新規顧客を増やすとともに、いままで培った3PL（元請、倉庫を利用した一括引き受け）、調達物流、引越等の強化を図り、輸送品質のレベルアップ、情報の提供を始めとする顧客満足度と輸送サービスの向上に努めるとともに、人員配置、時間管理、運行の見直し等による諸経費の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は296億1千4百万円（前年同期比99.9%）となり、営業利益は8億3千3百万円（前年同期営業利益は12億4千3百万円）、経常利益は8億1千7百万円（前年同期経常利益は12億6千7百万円）、四半期純利益は5億9百万円（前年同期純利益は6億9千9百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、営業収益は279億3百万円（前年同期比99.4%）となり、営業利益は燃料価格の高騰による燃油費の増加などにより5億9千5百万円（前年同期営業利益は10億2千7百万円）となりました。

② 不動産賃貸

不動産賃貸につきましては、東京に所在する当社保有のビルを賃貸しており、営業収益は1億6千5百万円（前年同期と同額）となり、営業利益は1億1千万円（前年同期営業利益は1億9百万円）となりました。

③ 石油製品販売

石油製品販売につきましては、原油価格の高騰に伴い商品価格が上昇したことなどにより、営業収益は12億4千7百万円（前年同期比109.4%）となり、営業利益は1千1百万円（前年同期営業利益は0百万円）となりました。

④ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は2億9千7百万円（前年同期比109.6%）となり、営業利益は8千7百万円（前年同期営業利益は7千万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は411億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加などにより流動資産合計が8億7千6百万円増加し、有形固定資産の減少などにより固定資産合計が1億7千2百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、314億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加などにより流動負債合計が5億3千3百万円増加し、固定負債その他の減少などにより固定負債合計が1億7千3百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、96億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千3百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、自己株式取得により1株予想は変更しておりますが、その他の予想数値は、現時点では概ね予想の範囲内で推移しているため、平成23年5月11日公表時からの変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,412,627	3,861,835
受取手形及び営業未収入金	6,268,544	6,635,620
有価証券	100,790	201,940
たな卸資産	144,479	148,662
その他	501,907	455,978
貸倒引当金	△7,950	△7,568
流動資産合計	10,420,398	11,296,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,679,057	9,320,571
車両運搬具（純額）	1,531,448	1,588,072
土地	15,497,822	15,505,822
その他（純額）	81,435	221,334
有形固定資産合計	26,789,764	26,635,801
無形固定資産	601,742	608,334
投資その他の資産		
投資有価証券	2,144,029	2,107,689
その他	491,969	509,660
貸倒引当金	△15,424	△22,395
投資その他の資産合計	2,620,574	2,594,954
固定資産合計	30,012,081	29,839,090
資産合計	40,432,479	41,135,559
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,676,872	2,851,156
短期借入金	10,117,265	10,548,889
未払法人税等	523,307	75,717
賞与引当金	253,247	3,870
その他	1,924,798	2,549,199
流動負債合計	15,495,492	16,028,832
固定負債		
長期借入金	11,279,225	11,253,876
退職給付引当金	2,690,169	2,673,445
役員退職慰労引当金	158,528	141,048
資産除去債務	85,270	86,735
その他	1,382,336	1,267,162
固定負債合計	15,595,530	15,422,266
負債合計	31,091,023	31,451,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 420, 600	2, 420, 600
資本剰余金	1, 761, 954	1, 761, 954
利益剰余金	5, 007, 380	5, 430, 610
自己株式	△79, 891	△130, 107
株主資本合計	9, 110, 043	9, 483, 057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211, 491	181, 886
その他の包括利益累計額合計	211, 491	181, 886
少数株主持分	19, 921	19, 515
純資産合計	9, 341, 456	9, 684, 460
負債純資産合計	40, 432, 479	41, 135, 559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業収益	29,642,502	29,614,028
営業原価	27,348,675	27,733,957
営業総利益	2,293,827	1,880,070
販売費及び一般管理費	1,050,182	1,046,652
営業利益	1,243,645	833,417
営業外収益		
受取利息	339	646
受取配当金	21,213	22,785
受取賃貸料	135,575	130,346
持分法による投資利益	29,126	32,419
助成金収入	105,008	8,246
その他	60,416	65,249
営業外収益合計	351,679	259,694
営業外費用		
支払利息	295,893	272,039
その他	31,802	3,267
営業外費用合計	327,696	275,306
経常利益	1,267,628	817,805
特別利益		
固定資産売却益	207,178	18,993
貸倒引当金戻入額	2,257	—
特別利益合計	209,436	18,993
特別損失		
固定資産除売却損	11,604	314
投資有価証券評価損	3,421	1,321
リース解約損	10,770	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,817	—
特別損失合計	87,614	1,636
税金等調整前四半期純利益	1,389,450	835,162
法人税、住民税及び事業税	527,440	240,307
法人税等調整額	160,842	84,257
法人税等合計	688,282	324,565
少数株主損益調整前四半期純利益	701,167	510,596
少数株主利益	2,041	1,093
四半期純利益	699,125	509,503

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	701,167	510,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,614	△29,604
その他の包括利益合計	△105,614	△29,604
四半期包括利益	595,552	480,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	593,510	479,898
少数株主に係る四半期包括利益	2,041	1,093

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	不動産 賃貸	石油製品 販売	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	28,064,668	165,951	1,140,532	29,371,152	271,350	29,642,502	—	29,642,502
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	19,599	—	1,984,830	2,004,429	695,711	2,700,141	(2,700,141)	—
計	28,084,268	165,951	3,125,362	31,375,582	967,062	32,342,644	(2,700,141)	29,642,502
セグメント利益	1,027,582	109,695	535	1,137,813	70,935	1,208,748	34,896	1,243,645

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額34,896千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	不動産 賃貸	石油製品 販売	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	27,903,399	165,951	1,247,258	29,316,609	297,418	29,614,028	—	29,614,028
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	21,031	—	2,175,256	2,196,287	748,999	2,945,286	(2,945,286)	—
計	27,924,430	165,951	3,422,515	31,512,896	1,046,418	32,559,314	(2,945,286)	29,614,028
セグメント利益	595,062	110,561	11,882	717,506	87,508	805,014	28,403	833,417

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額28,403千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「貨物運送関連事業」、「不動産賃貸事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「石油製品販売事業」を新たに報告セグメントとし、「貨物運送関連事業」、「不動産賃貸事業」、「石油製品販売事業」の3つを報告セグメントとすることに変更しております。

この変更は、「石油製品販売事業」の売上高が当社のすべての事業セグメントの売上高の合計額の10%以上となったためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。